

6 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	神戸	参加 メンバー	A 隊 CL:山口,SL:根芝,亀山(OB),神戸(記) B 隊 CL:館谷,SL:小田,藤田(OB),天野(OB),
		報告日	6/8		
山 域	大峰山脈	山行日	2017 年 6 月 3 日 (土)、 4(日)		
山 名	弥山、八経ヶ岳(双門滝)				

山行目的	登山技術向上(大峰の沢コースを楽しむ)	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	---------------------	--------------------

配布先	
集会:12	
山行: 1	
リーダー	
原紙: 集 会担当者	



6/3 晴れ	12:55-13:10 弥山小屋休憩 (1870m)
4:10 道の駅黒滝発	13:55 狼平小屋着
4:50 熊渡駐車場発(680m)	6/4 晴れ
5:20 林道分岐(840m)	6:10 狼平小屋発(1595m)
5:40 河原から上がる	7:05 カナビキ沢分岐 (1440m)休憩
6:30 釜滝(985m)休憩	8:00 林道合流(850m)
7:25 A 隊休憩	8:25 駐車場着(680m)
7:30-40 展望テラス休憩 (1330m)	
8:30-40 河原にて休憩 (1370m)	
9:45-50 河原にて休憩 (1475m)	
10:40 狼平小屋着 (1595m)	
11:05 荷物デポし出発	
12:05-25 明星ヶ岳(1894m) 休憩	
12:35 八経ヶ岳(1915m)10 着	

〈山行報告〉昨年若手 3 人組が大変苦労した大峰山の弥山川 (双門ノ滝) ルートの話聞いて、行ってみたいと思ひ参加した。気候の良い時期で駐車場がすぐに一杯になることを見越して早めの出発。まずは林道を 30 分ほど進み沢に入る。この山域は石灰岩の為、伏流になっている。河原歩きだ。釜に出合った所からトラバース道に入る。いくつも横になった梯子や階段を通り、1 時間ほど歩いてちょっとした岩を越えた処に釜滝があった。降りる道を見落とし崖に向かいやすい処だ。黄色テープが巻いてあったが保護色になっていた。つり橋を渡って 1 時間ほど進んで双門の滝展望テラスに B 隊は先に着くも、私がばてでペースが上がらなかつた A 隊は徐々に B 隊と別行動になった。この後に A 隊が道を外す要因の 1 つになった。だんだん沢から離れていき、やがて右に鉄製梯子を見た所から突然踏み跡がなくなったが 50m 程進んでしまう。さすがに違いと判断してトランシーバで B 隊と連絡取り合い笛を吹いてもらうと沢方向から聞こえた。先ほど見えた鉄製梯子から正規ルートに戻った。ちょっとしたロスだがデバイスを活用できてよかった。本来なら地図でルートの予測をすべき処だが自分は余裕がなかつた。反省。沢に降りてからは沢登りのように飛び石を渡ったり、ホルダーを越えたりで面白かつたが、好天で水量が少なかつたせいである。増水すると困難度は倍増する。若手 3 人とって去年に比べればハイキング気分だったようだ。最後に鉄梯子を上ったが、隣に鉄の杭棒もあったので体重が軽ければそちらが楽だ。程なくして狼平小屋に着き、時間も早いことから計画では 2 日目の明星ヶ岳・八経ヶ岳・弥山の

周回をすることになった。狼平小屋での宴会はなぜか白熱教室みたいになつたが楽しかつた。
2 日目は降りるだけなので気分も楽で、カナビキ沢への分岐道も思ったより普通の登山道で迷う要素は少ないかなと感じた。
今回は沢靴は必要がなかつたが石灰岩は滑らかなので濡れると注意。



確認 (リーダー)	
山	
17/06/07	
口	
作成 (報告者)	
神	
17/06/06	
戸	

〈リーダー所見〉
昨年、相当苦労した双門ルートに再チャレンジしたいという想いから山行を企画。今回はルートを把握していたこと、沢の水量が少なかつたことから比較的安心して登山を楽しむことができた。次回は沢登でチャレンジしてみたい。山行の様子はこちら (ムービー) ↓
<https://youtu.be/nvsYDDwwibg>